

・・・ 新刊本紹介 ・・・

請求記号	本の名前	書いた人	出版者
023J	これ1冊で完全理解 電子書籍	西田宗千佳	日経BP社
146シ	心理カウンセラーをめざす人の本'13年版	新川田謙	成美堂出版
289ミ	出光佐三反骨の言葉	水木楊	PHP研究所
289ヤ	新島八重ものがたり	山下智子	日本キリスト教団出版
3029	韓国の暮らしと文化を知るための70章	館野晰	明石書店
312才	約束の日 安倍晋三試論	小川栄太郎	幻冬舎
312コ	ニセモノ政治家の見分け方 ゴーマニズム宣言RISING	小林よしのり	幻冬舎
324X	すぐに役立つ私道・境界・建築をめぐる法律とトラブル解決マニュアル	尾込平一郎	三修社
3697	ケアマネージャーをめざす人の本'13年版	コンデックス情報研究所	成美堂出版
404シ	次世代が作りあげたもう一つのセンス・オブ・ワンダー	井上則子 ほか	かもがわ出版
411ウ	代数 黄金比から暗号の解読まで	マイケル・ウィラーズ	創元社
4147	幾何学 ピタゴラスの定理からメビウスの帯まで	マイク・アスキュー ほか	創元社
450ヤ	面白くて眠れなくなる地学	左巻健男	PHPエディターズ・グループ
488ミ	スズメの謎 身近な野鳥が減っている!?	三上修	誠文堂新光社
492キ	お灸女子1年生	北川毅	主婦と生活社
4937	アレルギーに負けない体は「腸」がつくる	藤田純一郎	実務教育出版
498M	「医療否定」は患者にとって幸せか	村田幸生	祥伝社
539才	原発はやっばり割に合わない 国民から見た本当のコスト	大島堅一	東洋経済新報社
6877	航空マンの「お仕事」と「正体」がよ〜くわかる本	秋山謙一郎	秀和システム
694X	スマートフォンを買ったらスグにやっておきたい10の安全対策	エックスワン	秀和システム
754J	五十音順やさしい折紙	朝日勇	パッチワーク通信社
783ハ	バトミントン超グレードアップレッスン		ベースボールマガジン社
902セ	世界の作家が愛した風景		パイインターナショナル
914キ	読まずにはいられない	北村薫	新潮社
914キ	みちくさ道中	木内昇	平凡社
914ミ	老年力 老境こそ第二の人生	三浦朱門	海竜社
916ヤ	神様からの宿題	山本育海 山本智子	ポプラ社
F才	私と踊って	恩田陸	新潮社
F才	夜の底は柔らかな幻 上・下	恩田陸	文芸春秋
Fハ	狛犬ジョンの軌跡	垣根涼介	光文社
Fハ	幸	香納諒一	角川春樹事務所
Fク	出雲王のみささぎ	桑原水菜	角川書店
Fコ	欠落	今野敏	講談社
Fサ	人質	佐々木譲	角川春樹事務所
Fシ	三匹のかいじゅう	椎名誠	集英社
Fシ	傾国子女	島田雅彦	文芸春秋
Fシ	ブラックボックス	篠田節子	朝日新聞出版
Fシ	溝鼠 最終章	新堂冬樹	徳間書店
Fツ	信長影絵	津本陽	文芸春秋
Fト	孤独な放火魔	夏樹静子	文芸春秋
Fハ	蛍草	葉室麟	双葉社
Fヒ	僕の心の埋まらない空洞	平山瑞穂	新潮社
Fマ	我、涙してうずくまり	丸山健二	岩波書店
Fミ	笑うハーレキン	道尾秀介	中央公論新社
Fミ	夢をかなえるゾウ 2	水野敬也	飛鳥新社
Fヤ	展覧会はまだ準備中	山本幸久	中央公論新社
Fヤ	ジョン・マン 3 望郷編	山本一力	講談社
LFイ	賊将 上・下 (大活字本)	池波正太郎	埼玉福祉会
LFサ	大盗の夜 上・下 土御門家・陰陽事件簿 (大活字本)	澤田ふし子	埼玉福祉会
S726マ	マンガで親しむ出雲神話 4 オオクニヌシ国譲り編	岩田廉太郎	山陰中央新報社
S911キ	歌集 隠岐の浜風	北野友煌	文芸社
SFマ	神と語って夢ならず	松本侑子	光文社

紹介しているのは1月に入った新刊の一部です。他にもたくさん入りましたのでチェックしてみてください。

図書館にない本が読みたいときには、リクエストをしてください。他の図書館から借りるか、購入してお届けします。

読まねかね

2013.2 Vol.93

隠岐の島町図書館

〒685-0014
 島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二、17-1
 tel: 08512-2-2341 fax: 08512-2-9198
<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/toshokan/>
 e-mail: s-tosho@mx.miracle.ne.jp



・蔵書点検による休館について・

図書館は蔵書点検を行うため、休館いたします。皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。
 期間中の本の返却は入口横の返却ポストをご利用ください。
 (CD・DVD等は壊れやすいため、開館後にカウンターにご返却ください)



休館期間：
 2月11日(月)～2月18日(月)

・高校生インターンシップ・

隠岐水産高校の生徒さんが2名、図書館にインターンシップ(就業体験)に来ました。本の返却や書棚の整理のほか、閉架書庫へ本をしまったり、おすすめ本の紹介を書いてもらったりと、いろいろなことをしてもらいました。将来の仕事選びに少しでも役立つことを祈っています。

※高校生の本の紹介は中高生向け図書館通信「プレジャー」に掲載予定です。



本にカバーをかけたたり、返ってきた本を棚に並べたり...

おすすめ本のコーナーも作ってくれました！手書きのイラスト付きポップがすてきです。(YAコーナーの前にあります)



・ ・ 本を大切に ・ ・

図書館では年間約8万冊の本が貸し出されます。いつも大切に使用していただいておりますが、時々傷んだ状態で返ってることがあります。水ぬれ・食べ物汚れ・破れ、書き込み、切り取りなど、程度がひどい場合は、廃棄するしかなくなり、他の人が読めなくなってしまいます。

図書館の資料は町民全体の財産です。修理できない場合は弁償していただきますが、郷土資料や古い絵本など、お金を出してももう手に入らないものもあります。大切に扱い、みんなで気持ちよく利用しましょう。

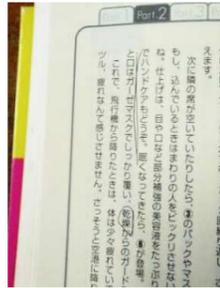
なお、セロテープを使ったご自分での修理はおやめください。劣化して本を傷めてしまいます。



破れた本



水濡れ



書き込み

・ ・ 隠岐アゴラ、開催中です ・ ・

あなたのおすすめの本を人に紹介しませんか？昔読んだ本でも、最近読んだばかりの本でも何でもOKです。聞くだけの方も歓迎です。みんなで楽しくおしゃべりしましょう。

隠岐アゴラは毎月第2土曜日に開催中です。

○第7回○
3月9日(土) 14時～16時
図書館研修室にて

～1月にはこんな本が紹介されました～

- 『食の終焉』 ポール・ロバーツ 著
- 『地球はひとつ アートによる世界人権宣言』
- 『伏 鷹作・里見八犬伝』 桜庭一樹 著
- 『あっちの豚 こっちの豚』 佐野洋子 著
- 『不実な美女か貞淑な醜女か』 米原真理 著

・ ・ 本の寄贈がありました ・ ・

11月、12月、1月には、八幡三枝子様、高梨洋子様、山本菊代様、原民子様、隼田法子様、三島幸司様、木田真琴様、神原由希様、田中由紀恵様、田中庸雄様、田中明美様、ほか8名の方に本を寄贈していただきました。

図書館の蔵書とするほか、公民館等での活用や古本市などにも使わせていただきます。大切な本をありがとうございました。



開館日カレンダー

■色の日は休館日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

定例行事

- はじめてのえほん 2月11日～18日は蔵書点検のため休館いたします。
- おはなしのへや 毎週土曜日 15:00～
- ブックトークの会 2月2日(土)14:00～ 3月2日(土)14:00～

・ ・ ・ 展示コーナー & 特集コーナー ・ ・ ・

★展示コーナー

《 隠岐いぐり風保存会作品展 》

隠岐いぐり風保存会のみなさんによる、いぐり風作品展を行っています。大小さまざまないぐり風をぜひご覧ください。

期間 3月末まで
場所 図書館展示コーナー



★特集コーナー

《 アレルギー・花粉症対策 》



そろそろ花粉症の人にはつらい季節。今年は昨年より花粉の飛散量が多いと予測されているとか…。今年はこれで対策してみよう！

★えほんコーナー

《 おに・おばけ 》

節分の豆まきは鬼を追いはらうもの。でも鬼やおばけってどんなすがたかな？絵本でみてみてね。



・ ・ ・ 1月の利用状況報告 ・ ・ ・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
24年度	3,937	1,372	7,089	6
23年度	3,865	1,286	6,921	8
比較	72	86	168	▲2

・ ・ ・ 1月によく読まれた本 ベスト10 ・ ・ ・

- | | | |
|---------------------------|-------|------------|
| 1位 お料理上手と思われる持ち寄り&さし入れレシピ | 馬場香織 | メディアファクトリー |
| 1位 旅猫レポート | 有川浩 | 文芸春秋 |
| 1位 何者 | 朝井リョウ | 新潮社 |
| 1位 沈黙の人 | 小池真理子 | 文芸春秋 |
| 5位 悪魔の政治力 | 滝沢中 | 経済界 |
| 5位 over the edge | 堂場瞬一 | 早川書房 |
| 5位 逆回りのお散歩 | 三崎亜記 | 集英社 |
| 5位 冷血 上 | 高村薫 | 毎日新聞社 |
| 5位 ふる | 西加奈子 | 河出書房新社 |
| 5位 蛍草 | 葉室麟 | 双葉社 |

・ ・ ・ 図書館職員オススメの一冊 ・ ・ ・

『K』 三木卓 著 講談社

「この夫婦、すごい！やっぱり詩人同士の夫婦は、一般人と違うね」

この本を読み終えた利用者の方からの感想を聞いて、私も読んでみた。

三木卓さんは、芥川賞作家・詩人・児童文学作家として有名だ。しかし、私にとっては、アーノルド・ローベル（小学校2年生の国語で習う）の絵本の翻訳をした人というイメージがあり、絵本の内容からか、ほのぼのした人という勝手なイメージを持っていた。「K」というのは、その三木さんの亡くなられた奥さんのことで、約50年に及ぶビックリするような夫婦の姿が描かれている。

三木さんは、障害や貧困の中たくましく育ち、「K」は裕福な商店で不自由なく育つ。異なる環境で育った二人…というのはよくある展開だが、牛肉の大和煮のくだりが象徴している。戦時中、大和煮目当てで軍隊に入った人もいるくらい高級な食べものだったそうだが、「K」の家では毎日お弁当に入っていて、食べ飽きたというのだ。あんなマズイものない、と。一方、それを聞いた夫は驚くばかり。あまりにかけはなれた環境で育ったふたりは、どんな結婚生活を送ったのか。

三木さんの「ほのぼの」イメージが一変する内容だが、文体がどこかユーモラスなせいもあり、全体に漂う温かい愛情を感じながら読める1冊だ。



今月の担当は住田です